

こころとからだをリラックス！親子短期保養プログラム in 沖縄



お世話になったセミナーハウスにて

2014年3月26日(水)～4月1日(火)にかけて6泊7日の日程で親子の保養プログラムを沖縄で行いました。3・11以降、北日本宣教会議(日本基督教団北海・奥羽・東北の三教区)が春と夏に続けてきた第五回目の長距離保養プログラムでした。いずみが立ち上げられたことにより、この回からいずみが共催として実務を担当し、引率者としてスタッフ一名が参加しました。参加者は10家族31名と引率スタッフ3名の総勢34名！東北に比べるとすでに“夏”のような沖縄で、泳いだり、汗びっしょりになるまで遊んだり、素晴らしい一週間で過ごしました。

予報ではあまり良い天気ではなかったのですが、参加者の思いが届いたのか(?)暖かく、青空が広がる日が続きました。沖縄キリスト教センター「ぎのわんセミナー・ハウス」を拠点として、首里城や美ら海水族館などの観光名所を巡ったり、現地の子どもたちに混ざってエコキャンプに参加したり、海や公園でのんびりする時間もたっぷりあって、ゆったり過ごすことができました。初日に行った佐喜真美術館や道の駅の屋上から眺めた嘉手納基地、美しい海や公園で遊んでいるときに上空を爆音とともに飛んでいく戦闘機…。参加者一人一人、心に思うことがあったことでしょう。



美ら海水族館にて



いろんな生き物を発見したよ！

はじめはモジモジしていた子どもたちも、最後はひとかたまりになって遊んでいました。口にしているものを気にせず、雨が降っても恐れず、裸足で駆け回ることができる…子どもたちを見守るお母さん方の笑顔もたくさん見ることができました。4日目と5日目の夜には、3年間それぞれが抱えてきた思いを語り合う時を持ちました。恐れ、不安、怒り、悲しみ…3年たった今、これらの感情が和らぐことはなく、むしろ一人ひとりの中で大きくなっているようでした。それにもかかわらず縮小されていく支援、確実に薄れていっている人々の記憶、差別、広がる健康被害など、多くの課題にいずみとして何ができるのかを考えるひと時でした。

今回プログラムに参加した一人ひとりにとって、一緒に過ごした沖縄での思い出がそれぞれの地で生きていく力になればと願っています。いずみも今回のつながりを温めていくことができれば、と強く思います。

最後に、お世話になったセミナーハウスの皆さんと沖縄で暖かく歓迎して下さった方々に心から感謝いたします！



エコキャンプでのひとコマ

仙台市内での甲状腺検診

2014年3月30日(日)、終日激しい雨が降る日でしたが、第2回目のエコーによる甲状腺検診を、仙台市内でおこないました。

今回は、青葉区で小児科医を営んでいる、寺澤政彦先生(写真左端)が検診してくださいました。また、「いずみ」の営みに関心を持たれ、ご自身も力添えをしたいとお考えの大塚純一先生(寺澤先生の右側)が福岡から見えられ、寺澤先生のサポートをかってってくださいました。

当日、検査をうけられた方は48名でした。

その多くが、仙台市や名取市、大崎市にお住いの、5歳から16歳までのお子さまでした。

また、運営面では、放射能問題に関心のある市民の皆様のご献身的なサポートによって、スムーズにはこび、受診に来たお母様やお父様、そして子どもたちの緊張感を和らげていただきました。

今回までは、福島県いわき市にある、「NPO法人放射能市民測定室たらちね」様から、検査機をお借りして検診を進めてまいりました。しかし、今後いずみとして定期的に検査を進めていくことが可能となりました。それは、下記コーナーに特記しましたように、お陰様でこのたび、日本基督教団救援対策本部の支援の御支援を頂きまして、甲状腺検査機を購入することができたからです。ご承知のように、甲状腺検査を希望される方は宮城県の各地におられます。いずみとしてその人たちの不安に寄り添うためにも、これからの活動を続けていきます。

また、これまでの「いわき放射能測定市民定室たらちね」様のご厚意に深く感謝いたします。

* 当日のアンケートから

A:「ずっと診断を受けたいと思っていたのでとにかく安心致しました。無料で検診させていただいたことに感謝しております。ありがとうございました。」

B:「ずっと気になっていた事で、検査の機会を与えて頂きありがとうございました。」

C:「今回、無料で検査していただいたことに感謝しています。一応問題無し、との話で安心しました。次回もあれば参加させてください。」

<甲状腺検査機を備えられました>



「いずみ」の重要な働きの一つはエコーによる「甲状腺検査」です。この活動に必要なエコー検査機(写真)が、日本基督教団救援対策本部の御支援を頂いて、4月1日より「いずみ」に備えられました。

宮城県内では、民間でエコー検査機を所有し、甲状腺検査を行っている団体は他にありません。この検査機はですから、検査を待っている多くの方たちの救いになると確信します。

「いずみ」では、2014年の活動として、仙台市内だけでなく、福島第一原発事故により放射能汚染が心配される、宮城県南部や北部での甲状腺検査の定期的な実施を企画しています。この検査機が一人でも多くの方に利用していただければと願っています。

